

とみぱーくが土木学会デザイン賞 2025 奨励賞を受賞

岐阜県と富加町が連携して整備しました河川公園「とみぱーく」が、土木学会デザイン賞 2025 の奨励賞を受賞しました。この賞は、土木構造物や公共的な空間のデザインにおいて、周辺環境や地域と一体となった体験の創造や保全を実現した作品、及びそれらの実現に貢献した関係者や関係組織に対し公益社団法人土木学会景観・デザイン委員会から贈られるものです。

令和 8 年 2 月 3 日、岐阜大学の出村嘉史教授と原田守啓教授が渡邊町長へ受賞の報告に訪れました。お二人は、富加町かわまちづくり協議会のアドバイザーとして、とみぱーくの整備に大きく貢献していただきました。出村教授は「奨励賞という未来に向かう良い賞を頂くことができました。とみぱーくは周りの環境も合わせてとても良い空間なので、これからも多くの人に利用していただきたい。」と受賞の喜びを話されていました。



左から原田教授、渡邊町長、出村教授、戸田可茂土木事務所長

また、同日、富加町まちづくり協議会の委員の方に参加いただき、受賞報告会を行いました。受賞報告やかわまちづくりの振り返りなどを話していただき、その後、「とみぱーくと富加町のまちづくりのこれからを語ろう」と題して、参加者と意見交換会を行いました。

